

松本市教育会報

第 302 号
 総集会特別号
 2018 年 7 月 6 日
 発行所
 松本市教育会
 小林良高
 (教育会事務局)
 TEL 32-4751・FAX 32-4773
 印刷所 藤原印刷(株)
 TEL 33-5092・FAX 37-0141

平成 30 年 7 月 27 日 (金) 午後
 松本市教育会定期総集會に参加しましょう!



松本市教育会長

小林 良高

私たちの松本市教育会は、百三十年を超える歴史と伝統を持ち、「夢と希望に輝く松本の子どもたち」の教育のために、多くの先輩方が資質向上を目指して研鑽を重ね続けてきました。それは、明治十七年に東筑摩郡(現松塩筑)内の百二十名あまりの教員が集い、「協同して教育上の学芸を研究し、郡内教育の興隆を図る」ことからスタートしました。爾来、多くの教員が、職能向上のために、教師としての専門性を磨き、人格の向上に努めて参りました。

さて、各学校では、新しい学習指導要領の完全実施に向けて、道徳や小学校外国語の教科化をはじめ、新しいことに対応すべく全職員で知恵を出し合い、創意工夫をしながら特色ある教育活動に取り組んでいます。

一方で、働き方改革の波が学校にも押し寄せ、明日の授業準備の時間も十分には確保できない現状です。短時間でより質の高い、研修や研究が求められています。職能向上を目指した松本市教育

会の様々な取組みが、今後、より重要視され大切なものとなってきます。

例年減少傾向にありました松本市教育会の会員数も増加したいことに今年度は増加いたしました。

また、今まで、五月中旬の土曜日に行われていた松本市教育会定期総集會を今年度は、夏休みに入つた七月二十七日(金)の平日に行います。

会員発表は鎌田小学校の小林直木先生に「プログラミング学習が創る対話的で深い学び」、明善中学校の太田明希子先生に「日中友好長野県教育者訪中団に参加して」と題して、発表していただきます。また、講演は松本猛さんに「生誕百年 母 いわさきちひろを語る」と題して、いわさきちひろが絵に込めた思いを語っていただきます。音楽同好会の皆さんによる合唱も楽しみです。

この総集會が充実した貴重な研修の場となるように仲間を誘い合つて、ご参加ください。

平成30年度松本市教育会定期総集會

1	期日	平成 30 年 7 月 27 日 (金)
2	会場	キッセイ文化ホール 大ホール (松本市水汲 69-2)
3	受付	午後 12 時 50 分 ~ 13 時 10 分
4	日程	(1) 開会のことば _____ 13 : 20 (2) 会長あいさつ _____ 13 : 22 (3) 会務・会計報告 _____ 13 : 28 (4) 来賓祝辞・来賓紹介、祝電披露 _____ 13 : 35 〈会場整理〉 _____ 13 : 55 (5) 会員発表 _____ 14 : 00 ・「プログラミング学習が創る対話的で深い学び」 小林 直木 先生 (鎌田小学校) ・「第 36 次 日中友好長野県教育者訪中団に参加して」 太田明希子 先生 (明善中学校) (6) 講演 _____ 14 : 50 ・演題 「生誕 100 年 母 いわさきちひろを語る」 ・講師 松本 猛 さん (安曇野ちひろ美術館前館長) (7) 音楽同好会発表 _____ 16 : 30 (8) 県歌「信濃の国」斉唱 _____ 16 : 40 (9) 閉会のことば _____ 16 : 45



平成30年度松本市教育会定期総集会講演案内

演題 「生誕100年 母 いわさきちひろを語る」

講師 まつもと たけし
松本 猛 さん

◆プロフィール

松本 猛 まつもと・たけし <http://www.takeshi-matsumoto.jp/>
1951年生まれ。美術・絵本評論家、作家、横浜美術大学客員教授、ちひろ美術館常任顧問、美術評論家連盟会員、日本ペンクラブ会員。1977年にちひろ美術館・東京、97年に安曇野ちひろ美術館を設立。同館館長、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長、絵本学会会長を歴任。著書『いわさきちひろ 子どもへの愛に生きて』『母ちひろのぬくもり』（講談社）『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』（新日本出版社）『東山魁夷と旅するドイツ・オーストリア』（日経新聞出版社）、絵本に『ふくしまからきた子』『ふくしまからきた子 そつぎょう』（絵・松本春野 岩崎書店）、『白い馬』（絵・東山魁夷 講談社）、『海底電車』（絵・松森清昭 童心社）など。



◆「生立ちの記」より

1951年4月18日、東京広尾の日赤病院で誕生。父、松本善明、母、いわさきちひろ。

当時、父母は神田のブリキ屋の2階の6畳一間で生活していた。父は司法試験の受験勉強中で、生活は駆け出しの画家だった母の絵筆一本にかかっていた。誕生後2ヶ月ほどは床の間に寝かされていたが、母は仕事と育児の両立が困難になり、長野県北安曇郡松川村（安曇野ちひろ美術館所在地）に住んでいた祖父母の元に預けられる。もの心つくころから、母、ちひろのアトリエはぼくの遊び場であり、母が描いた油絵の上に絵の具を塗って遊んでいた。今思うといわさきちひろの作品をずいぶんつぶしたことになる残念だ。

連絡とお願

○遅くとも開始5分前、午後1時15分には着席できるようにご協力をお願いします。当日、総合体育館での催しはないようですが、午前中から中ホール（定員300人）を利用する団体があるそうです。駐車場は、キッセイ文化ホールと総合体育館の他、旭町中学校にもお願いしてありますが、係員の指示に従って所定の場所へ駐車してください。

～人から人へ：教育会員からPTA・地域の皆様へ～

身近なお知り合いの方に、「教育会総集会は、広く一般市民の方にも門戸を開いています。会員発表からの参加でも、講演のみの参加でも大歓迎です。よい機会ですから、ぜひご参加ください。」と、積極的に誘ってください。